

1. 令和6年度全国学力・学習状況調査に係る本宮市の結果

1 調査に関する概要

実施日	令和6年4月18日（木）	
実施校	小学校 7 校（239人）	中学校 3 校（257人）
調査学年	6年生	3年生
調査教科	国語、算数	国語、数学

2 教科に関する調査の結果（年度調査結果について、本市の平均正答率を、全国・県と比較）

【現状の分析】

<小学校>

○国語は、平均正答率が全国平均を3.7ポイント、県平均を2ポイント下回った。児童数の差はあるが、学校間で+4.3～-17.7と22ポイントと差がある。

内容別平均正答率において、知識・技能(1)「言葉の特徴・使い方」は全国平均及び県平均を上回っている。一方で思考・判断・表現等のA「話す・聞く」B「書く」は全国を5ポイント以上下回っている。

算数は、平均正答率が全国平均を7.4ポイント、県平均を4ポイント下回った。学校間では+1.6～-12.4と14ポイントの差が見られた。領域別平均正答率において、すべての項目で、全国平均及び県平均を下回った。特に昨年の課題であったA「数と計算」の正答率は全国と比べ、かなり低い。（全国との差9.1ポイント）また、C「変化と関係」の正答率もかなり低かった。（全国との差9.3ポイント）

1. 令和6年度全国学力・学習状況調査に係る本宮市の結果

2 教科に関する調査の結果（年度調査結果について、本市の平均正答率を、全国・県と比較）

【現状の分析】

<中学校>

○国語は、平均正答率が県平均を上回り、ほぼ全国平均並であった。

内容平均正答率においても、知識・技能の(1)「言葉の特徴・使い方」(3)「言語文化」思考・判断・表現等のC「読む」が全国・県を上回っている。思考・判断・表現等のA「話す・聞く」が全国より3ポイント低かった。

数学は、平均正答率が全国より5.5、県より1ポイント下回った。

領域別平均正答率において、A「数と式」B「図形」の定着率が低い。（A：全国との差8.6ポイント、B：全国との差7.4ポイント）

【今後の課題】

○国語については、小・中共に「話す・聞く」ことが課題である。算数・数学については、ほぼすべて課題ではあるが、その中でも「数と計算（小）」「数と式（中）」、「図形（小・中）」が特に課題である。

また、教師中心の授業から学習者中心の授業に転換し、自分の思いや考えを友達に伝えたり、説明したりする等、子ども視点で「主体的・対話的で深い学び」がしやすくなる授業デザインを行うための、教師のファシリテーション能力の向上への授業改善が必要である。

1. 令和6年度全国学力・学習状況調査に係る本宮市の結果

<小学校>

小学6年 国語							
	平均	言葉の特徴・使い方	情報の扱い	言語文化	話す聞く	書く	読む
全国	67.7	64.4	86.9	74.6	59.8	68.4	70.7
福島県	66.0	64.7	84.4	75.2	55.6	66.3	71.0
本宮市	64.0	65.7	82.4	70.3	53.0	63.4	67.2

小学6年 算数					
	平均	数と計算	図形	変化と関係	データの活用
全国	63.4	66.0	66.3	51.7	61.8
福島県	60.0	60.8	64.8	46.0	58.9
本宮市	56.0	56.9	61.0	42.4	55.3

(数値は全て正答率)

<中学校>

中学3年 国語							
	平均	言葉の特徴・使い方	情報の扱い	言語文化	話す聞く	書く	読む
全国	58.1	59.2	59.6	75.6	58.8	65.3	47.9
福島県	57.0	58.4	58.4	76.1	57.5	64.6	47.4
本宮市	58.0	61.2	58.2	77.8	55.8	64.6	48.1

中学3年 数学					
	平均	数と式	図形	関数	データの活用
全国	52.5	51.1	40.3	60.7	55.5
福島県	48.0	46.1	36.3	58.2	50.4
本宮市	47.0	42.5	32.9	58.1	51.6

(数値は全て正答率)

72.3 青：全国平均を上回っている、

55.4 赤：全国平均より5ポイント以上低い。

2. 令和の日本型学校教育への授業改善

(1) すべての子どもたちに必要な力を育成するため、一方通行・画一的な授業から、「個別最適化された学び」「協働的な学び」「探究的な学び」へと授業改善を積極的に進める。

- ①授業中における教師の発話を大幅に精選する。
- ②振り返りの時間を重視し、授業中に行う。（子どもの主体的な学びにつなげる）
- ③ICTの効果的活用を図り、子どもの活動時間を1分でも多く確保する。

(2) 上越教育大学教職大学院教授 阿部隆幸氏を本宮市学習アドバイザーとして招聘し、「授業づくり」と「学級づくり」双方の関係性について、市内の小中学校及び市教委に対して助言をいただく。

2. 令和の日本型学校教育への授業改善

<学習アドバイザーの役割について>

- ①令和の日本型学校教育への授業改善に向けて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現のために研究的な視点から校内授業研究会及び講座等において教授いただく
(4月学力向上委員会において紹介及び講話、5月対面での講座、6月～2月検証授業)
- ②「授業づくり」と「学級集団づくり」双方の関係性について、市内の小中学校及び市教委に対して助言をいただく。
- ③指導助言を生かし、各学校は実践を深め、校内研究授業等において授業改善の成果を検証する。
(年間2回を3校程度 ※一つの学校に2回以上参観いただき、授業改善について検証いただく)

3. ICT（タブレット端末）の日常的な活用

（1）タブレット端末は子どもたちが使いたいときに使える環境を基本とする。

（朝、登校したら手元に置き、放課後は持ち帰り、家庭学習にも積極的に活用する。）

①AIドリルの継続的な活用

（朝の学習、授業中の習熟の時間、行事や活動等のすきま時間、家庭学習等）

②授業支援アプリを活用して、教師と子ども、子どもと子どもをつなぐ授業を行う。

③児童生徒一人一人に取得されているGoogleアカウントを積極的に活用する。

④小学校中学年からは、文字入力（タイピング）の練習を行い、中学校進学時には、
キーボードによるローマ字入力がスムーズにできるようにする。

（全国学力・学習状況調査のCBT化も踏まえて）

4. 授業参観（互見授業）や授業実践の推進

(1)指導助言を生かし、各学校は実践を深め、校内研究授業等において授業改善の成果を検証する。

- ① 講師招聘による授業研究
- ② 市指導主事による巡回指導
- ③ 要請訪問及び市学校訪問による授業参観
- ④ 南達方部学校教育指導委員やコアティーチャー等の授業を市内の教員が参観する機会を設ける。（モデルとなる授業を参観する機会を設ける。）

1. 現状と課題

(1) 幼稚園児数の減少

- ① 幼児教育を通して、子どもの社会性・協調性や自主性を育む「集団(クラス)」がつかれなくなっている。
- ② 幼稚園には給食提供が無いことが理由で、保育所へのニーズが高まっている。

(2) 施設の老朽化

- ① 各幼稚園とも建設から40年近くが経過している。
- ② 長寿命化計画による大規模改修により多額の費用が必要になる。

2. 園児数の推移 ※出生数から試算

幼稚園名	糠沢幼稚園			和田幼稚園			白岩幼稚園			計		
クラス年齢	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計	4歳児	5歳児	計
令和2年度	12	18	30	10	6	16	17	19	36	39	43	82
令和3年度	17	12	29	7	10	17	19	18	37	43	40	83
令和4年度	9	18	27	9	7	16	18	18	36	36	43	79
令和5年度	7	10	17	11	9	20	18	19	37	36	38	74
令和6年度	11	8	19	2	11	13	16	18	34	29	37	66
令和7年度(内定状況)	7	11	18	5	2	7	13	16	29	25	29	54
令和8年度(予定)	10	7	17	7	5	12	12	13	25	29	25	54
令和9年度(予定)	12	10	22	8	7	15	15	12	27	35	29	64
令和10年度(予定)	7	12	19	6	8	14	9	15	24	22	35	57

3. 教育委員会での協議経過（R6.9.24 9月定例教育委員会）

案① 認定こども園（幼保連携型）

▶白沢地区3幼稚園+白沢保育所を統廃合し、認定こども園として整備する。

案② 白沢地区3幼稚園統合

▶白沢地区3幼稚園を統合し、1施設に集約する。 ※白沢保育所は現行維持する。

案③ 幼稚園と保育所を合わせた施設（例：五百川幼保総合施設）

▶白沢地区3幼稚園を集約した幼稚園部と白沢保育所を保育所部として、1施設に集約する。

場所案

白沢保育所(白沢中学校)周辺が適当ではないか。

4. 施設の現状について

糠沢幼稚園

建築年	昭和60年度
構造	鉄骨造
面積	468㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	38年
敷地	1,493㎡



間取り 保育室4部屋、遊戯室、事務室

備考 令和4年度 職員トイレ改修工事
令和5年度 照明LED改修工事

和田幼稚園

建築年	昭和59年度
構造	鉄骨造
面積	355㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	39年
敷地	3,077㎡



間取り 保育室2部屋、遊戯室、事務室

備考 令和4年度 職員トイレ改修工事
令和5年度 照明LED改修工事

白岩幼稚園

建築年	昭和59年度
構造	鉄骨造
面積	555㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	39年
敷地	4,975㎡



間取り 保育室4部屋、遊戯室、事務室

備考 令和4年度 送迎用駐車場アスファルト舗装工事
令和5年度 照明LED改修工事

白沢保育所

建築年	平成10年度
構造	鉄骨造
面積	639㎡
耐震基準	新耐震
経過年数	25年
敷地	2,598㎡



間取り 保育室4部屋、遊戯室、調理室、事務室

備考 令和5年度 照明LED改修工事

1. 現状について

- (1)本宮市文化団体連絡協議会は、設立当初**102**団体の加盟団体があった。その後**100**団体前後で推移してきたが、令和2年度に**80**団体を切ってから急激に加盟団体が減少し、令和5年4月には一時**60**団体となった。
- (2)令和5年度から令和6年度で新規加入**11**団体、退会**4**団体があり、現在は**67**団体となっている。
- (3)生涯学習講座を、サークル活動につなげている(昔話、フラダンス、カラオケなど)
- (4)文化団体連絡協議会は視察研修を毎年実施し、他市町村の文化の吸収に取り組んでいる。
- (5)本宮市文化祭の展示・芸能発表は、多くの人に観覧に来ていただいている。

2. 課題について

- (1)全国的な傾向として文化団体の活動者の高齢化が進んでいる。
- (2)本宮市に限らず公民館活動については、若い世代の活動者が少ない。
- (3)高齢化などにより指導者が不在となり、活動を停止する団体がある。

文化団体連絡協議会加盟団体の減少について

3. 文団連加盟団体の推移について

年度	団体数	本宮	白沢支部	備考
平成18年度設立時	102	53	49	
平成19年度	99	52	47	
平成20年度	103	57	46	
平成21年度	105	59	46	
平成22年度	105	58	47	
平成23年度	103	58	45	
平成24年度	99	54	45	
平成25年度	102	56	46	
平成26年度	99	53	46	
平成27年度	95	50	45	
平成28年度	96	52	44	
平成29年度	96	53	43	
平成30年度	82	46	36	
令和元年度	79	44	35	
令和2年度	75	40	35	
令和3年度	70	38	32	
令和4年度	65	35	30	
令和5年度	60	31	29	
令和6年度	67	36	31	

※団体数が前年を下回っている年は赤字表示とした

文化団体連絡協議会加盟団体の減少について

本宮市

【芸術文化・生活芸術部門】

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1 フォト無限 | 2 芳鶴書道會 |
| 3 本宮雅伸会 | 4 本宮美術協会 |
| 5 将棋クラブ | 6 本宮囲碁クラブ |
| 7 池坊晴華サークル | 8 本宮盆栽クラブ (R6退会) |
| 9 裏千家野内社中 | 10 池坊堅香子くらぶ |
| 11 本宮中国語サロン | 12 表千家横山社中 |
| 13 主千家大内社中 | 14 表千家渡辺宗咲社 |
| 15 椽ふくしま俳句会 (R5加入) | 16 表千家國分社中 (R5加入) |

【音楽芸能部門】

- | | |
|----------------------|-----------------|
| 17 安達太良太鼓保存会 | 18 荒井の太々神楽保存会 |
| 19 なでしこ琴の会 | 20 三弦正雪会 |
| 21 箏曲生田流まゆみの会 | 22 田川流藤乃会 |
| 23 本宮吟剣詩舞の会 | 24 本宮歌謡音楽愛好会 |
| 25 フラマヒナヒナ | 26 フラハウリオリ |
| 27 リリアフラ本宮 | 28 わかば舞踊会 |
| 29 レクダンス・コスモス | 30 紅梅流美扇会 |
| 31 レイメリアホアヒリ | 32 田川流菊乃会 |
| 33 レイマカニフラオハナ | 34 フラモアナ (R5加入) |
| 35 民謡・三味線菊の会 (R5加入) | 36 やまびこ会 (R5加入) |
| 37 マカナブチ (R5加入、R6退会) | 38 五百塾 (R5加入) |

支部登録

【民俗芸能部会】

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1 和田神社太々神楽保存会 | 2 浮嶋神社太々神楽保存会 |
| 3 春日神社太々神楽保存会 | 4 鹿島神社太々神楽保存会 |
| 5 八ツ田内七福神舞 | 6 長屋諏訪神社獅子舞保存会 |
| 7 稲沢御田植踊保存会 | 8 長屋諏訪神社太々神楽保存会 |
| 9 高松神社太々神楽保存会 | |

【芸能音楽部会】

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 10 高松山権現太鼓会 | 11 白沢三弦会 |
| 12 やまゆり民謡会 | 13 白沢詩吟クラブ |
| 14 糠澤舞踊会 | 15 寿舞踊会 |
| 16 紅梅流和華三会 | 17 三井流歌央美充会 |
| 18 田川流手まり会 | 19 フラプルメリアしらさわ (R6退会) |
| 20 リリアフラ・ワイオリ | 21 コーラス・しらさわ |
| 22 さわやかカラオケ愛好会 | 23 ミュージックサウンド・ライ (R5加入) |
| 24 まゆみカラオケクラブ (R5加入) | 25 ティアレピカケ (R6加入) |
| 26 みずいろカラオケクラブ (R6加入) | |

【文芸美術部会】

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 27 白沢絵画愛好会 | 28 光が丘書道会 |
| 29 しらさわ陶芸サークル (R6退会) | 30 しらさわキルトフラワーバスケット |
| 31 川柳しらさわ吟社 | 32 本宮篆刻会 |
| 33 菅野茶道教室 | |